



2023.11.5

No. 358

MONTHLY

れんごう

北海道

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp>毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物認可

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者 和田英浩

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 はくろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

連合北海道第36回定期大会を開催 須間新体制がスタート

連合北海道は10月31日、札幌市内で第36回定期大会を開催した。

大会では、向こう2年間の運動方針を確認するとともに、役員改選により新会長に須間 等 (JP労組)、新事務局長に和田英浩 (自治労) が選出され、新体制が確立した。

はじめに執行部を代表して挨拶に立った杉山会長は、まず、世界的に平和が脅かされている現状にふれ、「再び悲惨な戦禍へと進みつつある。連合が唱える『平和なくして労働運動なし』のもと、働く者の立場から平和を希求し続けていこう」と述べた。また、2024春季生活闘争の取り組みについては「積極的な人への投資によって賃金が継続的に上昇し、経済が安定的に上昇するステージへの転換を確実なものとするためにも、すべての組織が連合2024春闘に結集しよう」と強調した。さらに、次期国政選挙についてもふれ、「この2年間の国政選挙で、なんとしても自民党一強政治を転換させるため、連合北海道が一丸となって取り組んでいこう」と訴えた。結びに、「連合の旗の下でしっかり心合わせ・力合わせを行い、すべての働く人・生活者にとって『必ずそばにいる存在』となる連合運動をめざしていこう」と呼びかけた。

大会は、「2024-25年度運動方針」のほか、「2023春季生活闘争のまとめ及び2024春季生活闘争基本構想」が主な議題として進められ、すべて原案どおり承認された。



討論では、全体で7組織から運動を補強する意見が出され、今後の運動に反映させ取り組んでいくことが確認された。

最後に、新執行部を代表して挨拶に立った須間会長は「連合北海道のさらなる運動の前進に向けて、働くすべての仲間に寄り添い、働くものが希望の持てる社会づくりをめざしていく」と決意を述べた。

さまざまな課題が深刻さを増す中、道民の命と暮らしを守り、労働環境を改善するため、連合北海道は新体制のもと組織全体で思いを一つにし、力強く運動を進めていく。

※「2024～2025年度(第18期)連合北海道役員」は次ページに掲載。



杉山前会長



須間新会長

最後に、地元釧根地協浅野会長による、四島一括返還運動の更なる深化を訴える力強い「団結がんばろう」で「平和行動in根室」を締めた。

連合北海道は、当該の地方連合会として、今後も職

場・地域にいる仲間とともに北方領土返還運動に粘り強く取り組んでいく。

〈この記事のアドレス〉

<https://www.rengo-hokkaido.gr.jp/archives/8356>

2023年第26代(北海道第11代)高校生平和大使 帰国報告

高校生平和大使が4年ぶりにスイス・ジュネーブの国連欧州本部などを訪問し、全国から集まった署名を届けたほか、スピーチや街頭署名活動などを通して、核兵器廃絶と

世界平和の実現を訴えた。北海道からは、旭川藤星高校3年の福本響さんと市立札幌開成中等高等学校1年の上坂芽生さんの2名が派遣され、このほど帰国報告を行った。



福本 響さん
(旭川藤星高校3年生)

8月19日から26日まで、スイス派遣に行ってきました。スイス派遣では、国連欧州本部訪問などを通して世界へ核兵器の廃絶と平和の実現のために直接、心からの訴えを伝えてきました。様々な行動を通して各国の大使の方々から私たちの活動の高い評価や温かい言葉を数多くいただき、今後の活動でさらに力を入れていこうと改めて決意をすることができました。

私がこのスイス派遣で、最も驚愕したことは大使の方に日本にいる被爆者についての質問をしたところ、被爆者の存在は被爆地である広島・長崎にしかないと思われていたことです。そこで北海道にいる被爆者について説明したところ、話にとっても興味をもってくださり、日本にいる被爆者の方々について知ることができてよかったとおっしゃっていただけました。

この派遣期間を通して、高校生平和大使の活動の重要性と平和の実現のための責任を改めて感じました。北海道では「継承」を今後の活動の軸とし、日常の様々なことが平和構築のために鎖のように繋がっているということを感じてもらえるように多様な視点から平和へのアプローチができる活動をしていきます。

今後も活動へのご理解とご協力をよろしくお願いたします。



上坂 芽生さん
(市立札幌開成中等高等学校1年生)

私は今回のスイス・オランダ派遣を通して私自身の知識の少なさを感じた一方、私たちの活動は無力ではないと感じました。日本政府代表部表敬訪問で核兵器禁止条約(TPNW)のオブザーバー参加について質問をした際、核兵器の知識が乏しく有意義な質問ができませんでした。もし、知識が少しでも多くあったら、事前により深く学んでいたら、より有意義な派遣になったのではないかと後悔しています。しかし、今回の派遣で知識の習得を今後の課題にできたからこそ、今後の活動に繋げることができると考えています。核兵器を廃絶するために、私たちに来ることは何か、核抑止論の考え方の限界をどのように伝えるかなど、山積みの核兵器の廃絶までの課題を一つ一つ学び活動に活かそうと思います。

また、今回の派遣で共通して多くの方が「広島や長崎の原爆の惨禍を少しでも多くの人に広めてほしい」と仰っていました。私たち一人ひとりが被爆の実相を伝えることの重要性と責任、活動が無力なものではないことを確信しました。今回の派遣はゴールではなく、核兵器廃絶へのスタート地点です。スイス・オランダ派遣で吸収できたことを地元北海道に広め、少しでも核兵器廃絶に貢献できるよう、一筆でも多くの署名を集め、一人でも多くの人に核兵器の威力、広島と長崎の被爆の実相を1人でも多くの方に伝えていきます。



11月の主な動き

- 2日(木) 18:30/TKP
第1回女性委員会幹事会
- 9日(木) 13:30/TKPガーデンシティ
第2回中央執行委員会
- 22日(水) 10:00/ポールスター札幌
第2回執行委員会
- 22日(水) 13:00/ポールスター札幌
第46回労働福祉対策特別委員会
- 22日(水) 14:30/ポールスター札幌
第1回地協事務局長会議
- 30日(木) 13:30/浦安ブライトン
第1回地方連合会代表者会議

各地協定期総会

- | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|
| ■網走地協
11日(土) 13:00/北見芸術文化ホール | ■檜山地協
18日(土) 15:30/ホテルニューえさし |
| ■留萌地協
11日(土) 13:30/留萌市中央公民館 | ■十勝地協
25日(土) 10:00/十勝教育会館 |
| ■後志地協
18日(土) 13:30/ホテル第一会館(倶知安) | ■空知地協
25日(土) 13:30/岩見沢市コミュニティプラザ |
| ■日高地協
18日(土) 14:30/静内エクリプスホテル | ■渡島地協
26日(日) 13:00/函館国際ホテル |
| | ■石狩地協
28日(火) 13:30/ポールスター札幌 |

イベントカレンダー